（別紙5）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	愛の園児童発達支援センターこども発達支援センターエール緑が丘

公表日　2026年　8月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	子どもたちの動線を考え構造化に向け変更をかけている。	利用児が増えた場合、スペースの使いかたに工夫が必要である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		現在は足りていると思うが、状況によっては人員配置に配慮していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	清潔の維持に努めている。 活動に合わせて空間を区切って使用している。	子どもの特性に合わせ部屋の環境を整えているが、職員同士の共有が必要な時がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6	3		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	4		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4	管理者による面談の場が設けられ改善に向け取り組みが始まっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3		スキルアップのための研修を希望している職員に機会を作っていきたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1	保護者との面談に各専門分野の職員も参加しニーズに添った支援を全員で考えている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2		共有はされているが、計画に沿った支援には療育のアプローチ方法の共有が必要である。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4		フォーマルアセスメントは限定的になりがちな為インフォーマルアセスメントを組み合わせ、根拠のある個別支援計画の作成を心がけている。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	保育士が主に立案した活動を専門職の意見も取り入れながら行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	8		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	3	子どもに合わせてバランスよく個別活動と集団活動を組み合わせて、職員が意見を出し合って計画を作成、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	担当を決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	関わりのある職員みんなで意見を出し合い見直しを行っている。	もう少し詳細な記録・検証・改善に関する内容に踏み込むことができれば、より療育の内容の充実が図れると考える。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	併設の保育園と情報共有を定期的に行い、十分に相互理解を図っている。	必要に応じて保育所等訪問などの支援を行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	4	2		積極的に地域の事業所などにも働きかけていきたい。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	6		人員の面で難しい点はあるが、できるだけ参加を促していきたい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		活動を企画し発信していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	4		車送迎での利用や就労している保護者とは連絡帳のみになっていて十分とは言えないため他の方法を思案中である。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	3		同意は得ているが丁寧な説明を心がけていきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	2		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	6		整備の段階にある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		見学会を開催し呼びかけを行っているが、集まりが悪く工夫が必要である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	5		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	5		BCPの定期的な見直しの機会を増やしていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	5		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	2	6		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	3		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	5		

（別紙7）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	愛の園児童発達支援センター　りんごの木

公表日　2026 年 8 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	1		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0	2		・まだ実績がないが、今後行っていく際にはしっかり行っていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	2		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	2	0		・法人内で年一回業務改善アンケートをおこなっている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		・まだ実施していないが今後行っていく予定である。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1		・今のところ動画研修や法人内の研修となっているが、外部の研修にも積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	0	2		・実施に当たってはアセスメント、保護者のニーズを適切に拾い上げ、適切な個別支援計画を立てていく予定である。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	0	2		・対応する職員とのスタッフ会議を行い子どもの最善の利益を考慮した計画書を作成していく。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	0	2		・訪問先施設の担当者、担任と意向をくみ取れる時間を持っていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	0	2		・スタッフ会議を持ち職員間の共有hを図る。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1		・決められた標準化されたアセスメント用紙を利用している。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	1	1		・使用する書式にはガイドラインの項目があるため項目に沿った支援内容の設定が行われると考えられる。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	0	1		・実施する際には職員間の共有のための会議を行っていく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1		・朝礼の中で職員同士の打合せを行い、連携に努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	1		・終礼の中で職員同士のその日の療育の振り返りを行い、情報の共有を行っている。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	0	2		・子どもの育ちを支える者同士として立場の違いを超えて相手の理念や支援方法を尊重していく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	0	2		・決められた記録、報告の書式を使用し支援の検証、改善に努める。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0	2		・決められた期間でのモニタリングを実施し見直しを行っていく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	2		・今後、情報の共有や連携の体制を整えていく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	2		

関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	2		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	2		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0	2		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	2		・今後、利用者全員が参加できるイベントを行う予定
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0	2		・契約の際には丁寧な説明を心がける。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	0	2		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	0	2		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	0	2		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	0	2		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	2	・父母の会や保護者会を設けていない	・できるだけ早く保護者支援の体制を整えていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	2		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	2		・お便り等定期的な発信を考えていく予定である。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		個人情報の取扱いに十分留意していく。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	0	2		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	0	2		・訪問先との繋がり、連携をしっかりと行っていきたい。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	0	2		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	0	2		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	0	2		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	0	2		
非常時等の対	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		

応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		